

# アップサイクルをBUZZらせたい！

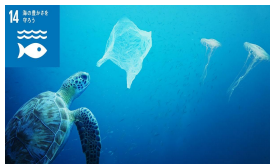
仙台第三高等学校 A-7班

## 1. 序論

2020年7月1日から始まったポリ袋の有料化。問題を身近に考えるきっかけになったのではないだろうか。私たちは2学年の文系生徒113名と先生方を対象に事前にアンケートを行った。アンケートでは、70%を超える人がプラスチックが海洋の生態系に悪影響があると分かっているが実際に対策を出来ていないと回答した。現在私たちがプラスチックを削減し環境を守るために出来ることは何なのだろうか。

## 2. 材料と方法

### 《海洋への影響》



#### ・ウミガメ

プラスチックをクラゲと勘違い  
食事を取らないため餓死してしまう  
魚類、海鳥など少なくとも700種が  
傷つけられ、死んでいる現状  
⇒生態系の破壊に繋がってしまう

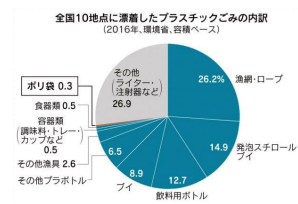
・マイクロプラスチック...大きさが5ミリ以下の微細なプラスチックのこと。生物が飲み込みやすく生態系が破壊される原因となっている。

### 《廃プラスチックの内訳》

右のグラフは、環境省が2016年度に調べた全国10地点に漂着したプラスチックごみの内訳である。

漁網・ロープの割合が、26.2%と一番高い。次いで、発泡スチロールブイや飲料用ペットボトルなどが高く、ポリ袋の割合は、0.3%と低い⇒ポリ袋を減らすだけでは解決出来ない。

図1



### 《3R》

日本政府が私たち個人に求めているのはRの徹底  
Reduce=排出するゴミの量を減らす  
Reuse=ゴミにせず、再利用する ⇒効果は薄い現状  
Recycle=徹底的に再生産にまわす

### 《Upcycle(アップサイクル)》

図2

RecycleやReuseとは異なり  
もともとの形状や特徴などを活か  
つ、古くなったもの不要だと  
思うものを捨てずに新しいアイデアを加えることで別のモノに生まれ変わらせるという考え方のこと。



## 4. まとめ・結論

アップサイクルの商品は一度使われているからこそ、レトロな雰囲気が味わうことができる。使い直すことに愛着も湧くのではないだろうか？アップサイクルの商品がBUZZするためには消費者である私たちも意識を変えなければならない。求められることは廃プラスチックの問題を真摯に受け止め、消費生活を変えアップサイクル商品の普及に努めることだと考える。

## 3. 結果・考察

プラスチック製品の利点は第一にコストが低いことが挙げられる。私たちが日常生活で使っているものはほとんどがプラスチック製品ではないだろうか。

ここで、政府が推奨する3Rを見てみると、プラスチック製品は低コストなため、使い捨て前提で作られており、Reuseすることが難しい。Recycle率を見ると80%以上で意外と高いと感じるかもしれない。

だが、その実情は多くがサーマルリサイクルというプラスチックを熱エネルギーへ変換するというものでCO<sub>2</sub>の排出を促進し、地球温暖化の原因の一つとなってしまっている現状だ。

そこで、私たちに出来ることはReduceとUpcycleなのではないかと考える。ただReduceはプラスチックゴミを減らすという考えであり、これまで使ってきたプラスチック使用を突然やめるとするのは難しい。ただアップサイクルの『ゴミを宝物にかえる』という考えがあればプラスチックの排出抑制の第1歩となるのではないだろうか。プラスチックを使い捨てるという考えから、少しでもゴミにするという概念を捨てる事が出来れば、それがReduceに繋がるのではないかと思う。

アップサイクルをbuzzらせるためには？

#### ○イノベーター

→アップサイクルの価値を見出した人

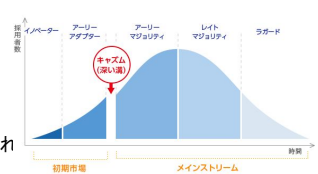
#### ○アーリーアダプター

→アップサイクルに価値を感じて、積極的に導入していく人々

#### ○アーリーマジョリティ

→アップサイクルの有用性が

アーリーアダプターによって確かめられ



アップサイクルの商品が選ばれるためには？

既存の商品にはない魅力が必要！

#### ○メリット○

- 1:ハンドメイドの限定品を低価格で買える
- 2:一点ものだから特別感がある
- 3:一度使われたものなのでレトロな味の商品になる

## 4. まとめ・結論

アップサイクルの商品は一度使われているからこそ、レトロな雰囲気が味わうことができる。使い直すことに愛着も湧くのではないだろうか？アップサイクルの商品がBUZZするためには消費者である私たちも意識を変えなければならない。求められることは廃プラスチックの問題を真摯に受け止め、消費生活を変えアップサイクル商品の普及に努めることだと考える。

